

10月15日に「国連を支える世界子ども未来会議 in SHINAGAWA」を開催しました



一般財団法人ピースコミュニケーション財団は、小学生がSDGsの観点から「住み続けられる未来の品川区」をテーマにディスカッションを行う『国連を支える世界子ども未来会議 in SHINAGAWA』を10月15日、品川区役所で開催しました。今回の「in SHINAGAWA」は品川区と当団の共同主催で行い、品川区の小学4～6年生約30名が参加し、持続可能な都市づくりのアイデアを出し合いました。

当イベントは3部制で行われ、第1部では株式会社オウルズコンサルティンググループソーシャルPRスペシャリストの若林理紗さんがSDGsについての講義を行いました。若林さんはSDGsの成り立ちを説明するなかで「地球上の誰一人も取り残さない」という理念を紹介し、身近な事案を例にして「違う視点を持つこと」「広い視野を持つこと」「考えて終わりではなく、行動すること」といったSDGsにおける重要な要素を常に意識することを呼びかけました。



第2部では7つのグループに分かれてワークショップを実施。ここでは日本電信電話株式会社の協力のもと、「わたしたちのウェルビーイングカード」を用いて議論を展開しました。「住み続けられる未来の品川区」を実現するために必要な要素となるカードを各自2枚選んだうえで議論し、全員が選んだカードの中からグループとしての1枚を決定。決定したテーマについて具体的にどんなアクションを取れるのか、そしてどんな未来があるのかというビジョンをパネルにまとめました。

第3部は区議会の議場で子どもたちが各グループ3分という持ち時間の中、「品川挨拶運動」「決まりを守ることが大事」「生命を思いやる愛が大事」「5月に思いやり月間を実施／助けてくださいカード」「共有の場を作る」「決まりを守ることが大事。ルールを振り返る」「価値観の理解が大切。SDGsのポスターを学校に作る」といったさまざまなアイデアを発表しました。

発表の際には質疑応答も行われ、「挨拶をする際にどこの国の人か分からないのでは？」「品川区以外の人にどう知らせるのか？」「価値観の理解とは？」といった大人顔負けの質問も。



審査の結果は、街中で困った人が使う「助けてくださいカード」の実現を提唱したグループが最優秀賞を獲得しました。最優秀賞を受賞したグループは来年3月に東京都庁で行われる「第4回国連を支える世界子ども未来会議」への参加していただく予定です。

最優秀賞を受賞したグループは「まさか最優秀賞を取れるとは思っていなかったのでもびっくりした。みんなで話し合って頑張ったアイディアだったのでうれしかった」「チームで団結して考えたりするのが楽しかったし、意見がまとまった時はうれしかった」「こういう場に来たのは初めてだったので、とても新鮮。他のグループの新しい意見が聞けて、学びがたくさんあった」「最優秀賞を取れてうれしかったし、みんなで楽しくできて良かった」「応募しなければこのチームで最優秀賞を取ることもなかったので、応募して良かった」と語りました。来年行われる「第4回国連を支える世界こども未来会議」については「世界の人たちといろいろと話をできるのはとても楽しみ」「緊張する（笑）」とここについては意見が分かれる場面もありました。

なおこの日の会議の審査員は代表理事の一木、若林さん、堀さん、朝日透さん（早稲田大学理工学術院教授）、森澤恭子さん（品川区長）、伊崎みゆきさん（同区教育長）、渡辺ゆういちさん（同区議会議長）、あくつ広王さん（同区議会副議長）が務めました。

◆国連を支える世界こども未来会議 in SHINAGAWA 開催概要

【イベントタイトル】国連を支える世界こども未来会議 in SHINAGAWA

【開催日時】2023年10月15日（日）

【開催場所】品川区役所 会議場

【審査員】一木広治（一般財団法人ピースコミュニケーション財団代表理事）／

堀潤（ジャーナリスト）／若林理紗（株式会社オウルズコンサルティンググループソーシャル PR スペシャリスト）／

朝日透（早稲田大学理工学術院教授）／森澤恭子（品川区長）／伊崎みゆき（同区教育長）／

渡辺ゆういち氏（同区議会議長）／あくつ広王（同区議会副議長）

【主催】品川区／一般財団法人ピースコミュニケーション財団

【協力】早稲田大学グローバル科学知融合研究所／

大阪大学大学院国際公共政策研究科 ESG インテグレーション研究教育センター

【事業賛同パートナー】日本電信電話会社

【後援】内閣府こども家庭庁／外務省／内閣官房国際博覧会推進本部／東京都